

一般社団法人

富山県臨床検査技師会会報

平成 31 年 4 月 25 日 発行 通巻 335 号

2019 5 月号

目次	生涯教育研修会日程・・・・・・・・・・	1 P
	今月・来月の行事予定表・・・・・・・・	3 P
	トピックス・・・・・・・・・・	4 P
	富山県ニューリーダー育成研修会報告・・	6 P
	珈琲ぶれいく・・・・・・・・・・	8 P
	事務局からのお知らせ・・・・・・・・	9 P



TAMT 一般社団法人 富山県臨床検査技師会

Toyama Association of Medical Technologists

富臨技 E メールアドレス

tamt@jasmine.ocn.ne.jp

富臨技 ホームページURL

[http:// www.tamt2012.or.jp/](http://www.tamt2012.or.jp/)

ホームページもご覧ください。

発行所 一般社団法人 富山県臨床検査技師会	編集者 澤井真史 上野智浩 村椿智佳子
発行地 〒939-8222 富山市蜷川 336	柴山直美 油谷智史 石川幸和
富山県医師会館内	中河竜也 谷口直美 宮窪麻由美
TEL 076-429-4309	今村縁 清水雅彦 高柳由美
FAX 076-429-4569	中野壮城 齊藤良子 長沢昌恵
発行人 会長 南部 重一	宮崎しのぶ 丹羽弘枝 小路聡美
印刷人 一般社団法人 富臨技事務局・広報部	岡田佐恵子 林智津代 藤本寛之
編集責任者 広報部長 野村 亮	大橋美香 竹村さおり 宮脇夕佳

生涯教育研修会日程

参加される方は、日臨技会員証を必ずご持参ください。

非会員の方は、原則として 1 研修につき参加費 1,000 円を徴収します。

富臨技主催・共催

❖ 第 136 回 輸血細胞治療部門定例勉強会

日 時：2019 年 5 月 16 日（木） 19：00～20：30

会 場：富山大学附属病院 臨床教育実習センター2 階多目的研修室

❖ 石川県術中モニタリングセミナー

日 時：2019 年 6 月 29 日（土） 13：30～18：00

会 場：金大病院 CPD センター

日臨技 or 中部圏支部主催

❖ 第 68 回 日本医学検査学会 in 下関

日 時：2019 年 5 月 18 日（土）～19 日（日）

会 場：下関市民会館、シーモールパレス、
海峡メッセ下関、下関市生涯学習プラザ

❖ 検体採取に関する厚生労働省指定講習会 重要

平成 27 年 4 月以降、検体採取等業務が臨床検査技師の業務範囲に含まれることとなりました。厚生労働省指定講習会を終了しないと新たな検体採取等の業務には従事できなくなります。有資格者全員の受講が求められます。

皆様早めに受講しましょう。

<http://www.jamt.or.jp>

H31. 4/4 現在の受講状況

会員数 (富山県) : 547 名

修了者 (富山県) : 344 名

未受講者 (富山県) : 203 名

修了率 : 富山県 62.9%

全 国 71.2%



◇実施可能となる業務

～検査のプロが責任を持って採取しています～

- ①鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液その他これらに類するものを採取する行為
 - ②表皮並びに体表及び口腔の粘膜を採取する行為（生検のためにこれらを採取する行為を除く。）
 - ③皮膚並びに体表及び口腔の病変部位の膿を採取する行為
 - ④鱗屑、痂皮その他の体表の付着物を採取する行為
 - ⑤綿棒を用いて肛門からの糞便を採取する行為
 - ⑥基準嗅覚検査及び静脈性嗅覚検査（静脈に注射する行為を除く）
 - ⑦電気味覚検査及びろ紙ディスク法による味覚定量検査
- ※⑥⑦は省令で定められた生理学的検査への追加



富臨技（主催・共催） 行事予定表

5 月			6 月		
日	曜	開催予定行事	日	曜	開催予定行事
1	水		1	土	
2	木		2	日	
3	金		3	月	
4	土		4	火	
5	日		5	水	
6	月		6	木	
7	火		7	金	
8	水		8	土	
9	木		9	日	
10	金		10	月	
11	土		11	火	
12	日		12	水	
13	月		13	木	第三回理事会
14	火		14	金	
15	水		15	土	
16	木	・ 輸血細胞治療部門定例勉強会 ・ 第二回理事会	16	日	
17	金		17	月	
18	土		18	火	
19	日		19	水	
20	月		20	木	
21	火		21	金	
22	水		22	土	
23	木		23	日	
24	金		24	月	
25	土	富臨技定期総会	25	火	
26	日		26	水	
27	月		27	木	
28	火		28	金	
29	水		29	木	
30	木		30	金	
31	金				

トピックス

第 93 回日本感染症学会総会・学術講演会に参加して

南砺市民病院 検査科 畑 和秀

2019 年 4 月 4 日～6 日、愛知県名古屋国際会議場で行われた第 93 回日本感染症学会総会・学術講演会に参加しました。学会テーマは『[百折不倒] と [磨穿鉄硯] の姿勢で世界をリードする』というもので“信念を曲げず目標を達成する”という意味だそうです。

私も新年度が始まったばかりの時期に職場を離れ学会に参加し、スタッフに多大な迷惑をかけてしまうことは分かっていましたが、どうしても新しい感染症の知識を知りたいという思いで、百折不倒と磨穿鉄硯の精神で参加させていただきました。

内容は教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、一般演題がありましたが他に日本人による英語セッションが数多くあり、今後臨床検査技師会も将来大きく発展するには国際化は不可欠と感じました。

なお、今学会のプログラム委員長は我々感染対策関係者がいつもお世話になっている 富山大学 感染予防医学講座 山本善裕教授でした。このことも今回の参加するきっかけの一つで、山本教授？のバイタリテイをたくさん感じることができました。



いつも
フレンドリーな
山本先生

名古屋ときたら、
きしめん、てばさき♪

マスク

最後となりましたが、数年前から富山県感染対策研究会は 4 職種（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師）の連携が大事であると考えています。しかしながら、毎回臨床検査技師の参加は一番少ない職種で肩身の狭い思いをしています。どうか次回は多くの臨床検査技師仲間が参加していただけるよう下記にお知らせをいたします。

第 45 回富山県感染対策研究会

開催日時：2019 年 9 月 8 日（日）13：30～16：30

会 場：富山大学附属病院 医薬イノベーションセンター1階
日医工オーディトリウム

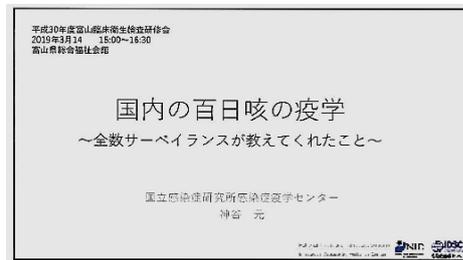
代表世話人：富山大学附属病院 山本善裕教授

当番世話病院：南砺市民病院

平成 30 年度富山県臨床衛生検査研修会に参加して

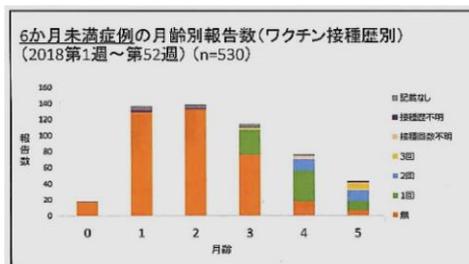
厚生連高岡病院 臨床検査部 中河竜也

平成 31 年 3 月 14 日サンシップ富山にて開催されました平成 30 年度富山県臨床衛生検査研修会に参加してきましたので報告させていただきます。本研修会は富山県と当会の合同企画で、例年テーマは公衆衛生お中心としたものとなっております。参加者は当会に参加されている医療機関技師に加え、県厚生部や衛生研究所、厚生センターなど行政関係の職員も聴講されていました。今回の研修会では、講師に感染症疫学センター 主任研究官の神谷元先生をお迎えし、“国内の百日咳の疫学 ～全数サーベイランスが教えてくれたこと～”についてご講義していただきました。



百日咳における感染症法による届出は、は 2017 年までは五類感染症小児科定点把握疾患であり、またその診断基準も“2 週間以上の咳”などの臨床診断のみでした。従いまして成人の発生状況や日本国内における百日咳の発生状況の把握は困難であり、その届出数も非常に少ないものでした。2018 年 1 月より五類感染症全数把握疾患となり、届出基準も菌培養、遺伝子、抗体検査により診断されたものとなり、小児だけでなく成人を含めた動向の把握やより特異度の高い症例の把握できるものとなりました。実際に 2018 年の届出数は 11,946 件に上り、これは感染症研究所の予想をはるかに超えたものであったそうです。また患者の診断方法のほとんどが LAMP 法などの遺伝子検査と抗体価検査によるものでした。ワクチン接種との関係では、生後 6 カ月未満児中、ワクチン未接種の 2 カ月児の患者多く、感染源としては兄弟姉妹などが 4 割で最多であったことから早期の確実なワクチン接種と乳児と接触する人へ疾患への理解が大変重要だということが理解できました。

耐性菌が認めずマクロライド系抗菌薬が第一選択薬ですが、菌培養検査による診断がほとんどない現状から耐性菌心配も危惧されるところです。とはいうものの百日咳菌を培養するにはボルデ・ジャング培地などの特殊な培地が必要ですが、当院では恥ずかしながら準備していませんので、検出できるはずがありません。また近年では様々な病原体を同時に検出できるマルチプレックス PCR も市販されており、これまで検出が難しかった百日咳菌の検出も迅速に行えるようになってきました。今後は臨床検査技師が遺伝子検査、抗体検査、菌培養をうまく“調和“させ、診断に貢献していくことが重要であると深く感じました。



平成 30 年度 富山県ニューリーダー育成研修会を開催して

富山県済生会富山病院 病理診断科
第 1 回日臨技地域ニューリーダー
田近 洋介

日臨技及び都道府県技師会の組織活性化、組織強化事業の一環として、次世代の人材育成をテーマに 4 回目となる研修会を富山県済生会富山病院で 3 月 16 日に開催いたしました。

医療情勢が大きく変化する中で検査技師が如何に活躍して行く事が出来るかは、一人ひとりの会員がどれだけ真剣に今後の検査業界や検査技師会、医療業界の事を考えているかに尽きると思います。

今回の研修では、はじめに我々が置かれている環境、今後の方向性を深沢恵治 日臨技専務理事に講演を頂きまして理解を深めました。その中で、今後ますます人口が減って行き高齢化が進み社会保障費が増大する結果、国の予算が足りなくなっている事、地域医療構想をはじめとした施策により、今の医療体制がまさに転換期を迎えていると言う事を講義して頂きました。また、宮島善文 参議院議員、日臨技会長よりビデオ講演も頂き強いメッセージと共に方向性を示して頂き、充実した講演内容となりました。

講演の後はワールドカフェ形式でのディスカッションを行いました。テーマは「多職種連携医療に求められるものとは」と言う広い内容でのディスカッションで、4 人ごとのチームに分かれ 10 分議論し、1 人を残して他はメンバーを入れ替えるというやり方でラウンド 3 まで行い、最後はまとめとして全体で発表を行いました。

自分一人では気付きもしない事や意見を言う事で再確認できたことなど、それぞれの熱い意見を交換し、とても有意義な研修会になったのではないかと思います。テーマも広く難しかったにもかかわらず、偶然にもチームごとにチーム A 現状、チーム B 何が求められているか、チーム C 何を行えばよいか、というテーマが上がりそれぞれの施策も出そろい思いを共有できたと思います。

今年度は日臨技と共同で富臨技澤井真史副会長を中心に開催いたしましたが、来年度は我々、日臨技地域ニューリーダー 4 人（田近、大西、浦田、油谷）が中心となって、富山県ニューリーダーを育成していくことになっております。今後、受講される方々は富山県ニューリーダーとなりますので、その際はさらに広げて行くためご協力をお願いいたします。



深沢恵治日臨技専務理事の講演



チーム B の発表（筆者は右）

珈琲ぶれいく



いよいよ新元号「令和」がスタートする 5 月ですね。
 長い連休のあとには、“母の日”があります。今年は、5 月 12 日（第 2 日曜日）です。
 皆さん、今年は、どんなプレゼントをお考えでしょうか？
 いくつかおススメをご紹介します。

お花

色や花言葉を意識しては、枯れないプリザードフラワーや
 ハーバリウムなども注目です。



ハーバリウム

※プリザードフラワー…生花や葉を特殊液の中に沈めて、水分を抜いた素材。
 ハーバリウム …プリザードフラワーやドライフラワーをボトルに
 入れ、専用のオイルで満たしたものの。

スイーツ

自分では買わない高級感のあるものや
 お母さんの好物を使ったものなど。



お母さんの趣味関係のもの

お母さんのことを想っていることが伝わる。

家電

ハイテクがお母さんを助ける。お掃除ロボットや
 便利なキッチン家電、美容家電なんかもあります。



コスメやファッション雑貨

お母さんにいつまでも輝いていて欲しい。
 ハンドクリームやボディクリーム、エステチケットなんかも喜ばれるかも。

プレゼントには簡単な内容でも日頃の感謝の気持ちを伝えられるメッセージを添えて。できれば直接渡せたらいいですね。

なにより元気な顔を見せてあげて、一緒にお話しする時間が一番のプレゼントになるのかもしれないよ。ステキな母の日を！

事務局からのお知らせ

富臨技求人情報

NO	地域	施設種類	職種	雇用内容	人数	備考
1	呉東地区	検診	臨床検査技師	正職員	1名	パート可
2	呉東地区	検診	臨床検査技師	正職員	数名	パート可
3	呉西地区	クリニック	臨床検査技師	正職員	1～2名	
4	呉西地区	病院	臨床検査技師	非常勤	1名	
5	呉東地区	病院	臨床検査技師	臨時職員	2名	
6	呉西地区	病院	臨床検査技師	非常勤	1名	
7	呉東地区	病院	臨床検査技師	非常勤	3名※	※・1名4月～ ※・1名5月～ ※・1名10月～
8	呉西地区	病院	臨床検査技師	正職員	1名	
9	呉西地区	クリニック	臨床検査技師	非常勤	1名	
10	呉東地区	病院	臨床検査技師	臨時職員	1名	

問い合わせは富山市医師会健康管理センター 石川 幸和 (イシカワ ユキカズ) まで 076-422-4122

当会では、施設から提出された求人情報のみ会報並びにホームページ上で公開し、個人の紹介及び検索行為は行いませんのでご了承ください。尚、掲載期間は2ヶ月間とさせていただきます。

入退会について

富臨技への入会および退会には、日臨技とは別の手続きが必要です。富臨技ホームページに入会、退会様式がありますので印刷、記載のうえ、富臨技事務所まで提出をお願い致します。

あとがき

この会報が皆様のお手元に届く時には新元号『令和』となっているかとおもいます。4月1日にテレビで新しい元号の発表をリアルタイムでみることができました。第一印象は平成の時と同じで少し不思議な感覚でしたが、『和』の文字が昭和と重なり、すぐにいい元号だなとおもったのは私だけでしょうか。伏木にある万葉歴史館では新しい元号についての特別展を開催しているそうです。お時間のある方はぜひ見学にいかれてはどうでしょうか。



会員の皆様の勉強会や研修会等の情報や御報告、そのほか掲載を希望する情報がございましたら、お気軽に富臨技広報部までご投稿お願い致します。宛先は tamt@jasmine.ocn.ne.jp

❖ 平成 31 年度 会報 5 月号 (通巻 335 号) 発行

会報編集：富山県臨床検査技師会 広報部